

直交ロボット オプション

ケーブル取出し方向

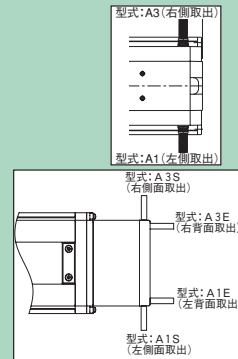
型式 A1 / A3

説明 アクチュエータケーブルの取出し方向を変更したい場合に指定します。

型式 A1S / A1E / A3S / A3E

説明 アクチュエータケーブルの取出し方向を、左背面、左側面、右背面、右側面の4種類から選択出来ます。

※取出し方向はいずれかを必ず選択して頂きます。



エア配管付仕様(CT4専用)

型式 AC

説明 直交4軸+回転軸付仕様は、標準でZ軸先端までのエア配管が付いています。
直交4軸仕様は標準ではエア配管は内蔵していませんので、必要な場合はオプションのエア配管付仕様(型式:AC)をご指定ください。

AQ シール

型式 AQ

説明 AQシールは潤滑油を樹脂で固形化した潤滑部材を使用した潤滑ユニットです。
多量の潤滑油を含んだ多孔質部材であるため、毛細管現象によりその表面に潤滑油が染み出す特徴をもっています。
AQシールをガイド及びボールネジの表面(鋼球転動面)に押し当てることで潤滑油が供給され、グリースとの併用による相乗効果で長期のメンテナンスフリーが可能となります。

ブレーキ

型式 B

説明 アクチュエータを垂直で使用する場合に、電源OFFまたはサーボOFF時にZ軸スライダが落下して取り付け物等を破損しないための保持機構です。
Z軸は垂直仕様のため、ブレーキが標準装備となっています。
Z軸以外の軸については、必要に応じてブレーキオプションをご使用ください。

クリーブセンサ

型式 C / CL

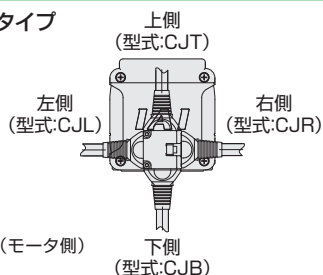
説明 原点復帰を高速で行うためのセンサです。
通常原点復帰は、モータ側ストロークエンドのストッパにスライダを押し当てて反転させる方式のため、原点復帰速度は10~20 mm/sに抑えられています。そのため、ストロークが長いタイプは原点復帰が完了するまで時間がかかります。それを短縮させるために途中までは高速でスライダを戻し、原点手前で速度を通常原点復帰速度へ落とすための近接センサです。
センサの取付位置は、モータ側から見てアクチュエータ本体右側が標準(C)、本体左側が勝手違い(CL)となります。
センサの取り付け位置は、軸組合せ方向によって決まっています。詳細は、3-25ページをご確認ください。

ケーブル取出し方向変更

型式 CJT / CJR / CJL / CJB / CJO

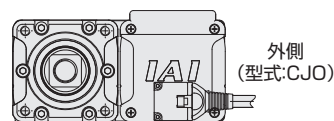
説明 アクチュエータ本体に装着するモータ・エンコーダケーブルの取付方向を上下左右に変更することが出来ます。

モータストレートタイプ



※アクチュエータ後方(モータ側)から見た場合です。

モータ折返しタイプ

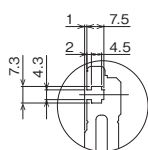


※アクチュエータ前方から見た場合です。

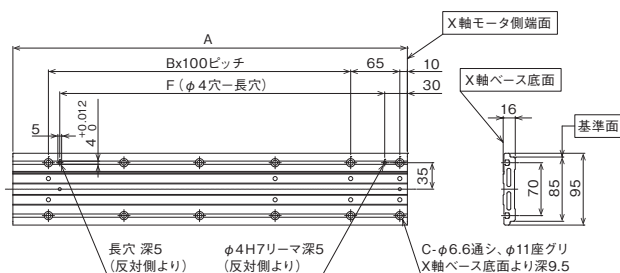
フートプレート

型式 **FTP** 説明 上面から据え付けをするためのオプションです。

IK2-P6XBD2□□S
IK2-P6XBD3□□S



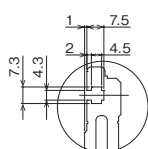
フートプレート
Tスロット詳細



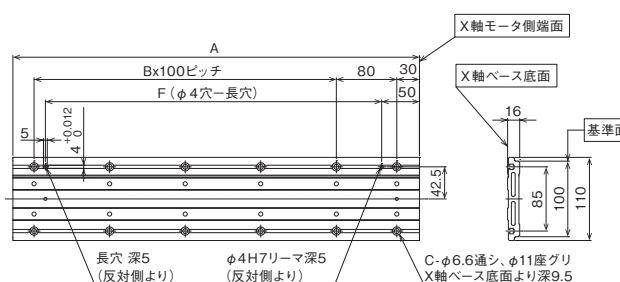
フートプレート取付寸法

X軸ストローク	A	B	C	F
50	172	0	4	30
100	222	1	6	130
150	272	1	6	130
200	322	2	8	230
250	372	2	8	230
300	422	3	10	330
350	472	3	10	330
400	522	4	12	430
450	572	4	12	430
500	622	5	14	530
550	672	5	14	530
600	722	6	16	630
650	772	6	16	630
700	822	7	18	730
750	872	7	18	730
800	922	8	20	830

IK2-P6XBC2□□S
IK2-P6XBC3□□S
IK3-P6BBC2□□S
IK3-P6BBC3□□S



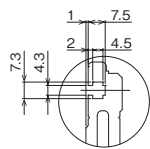
フートプレート
Tスロット詳細



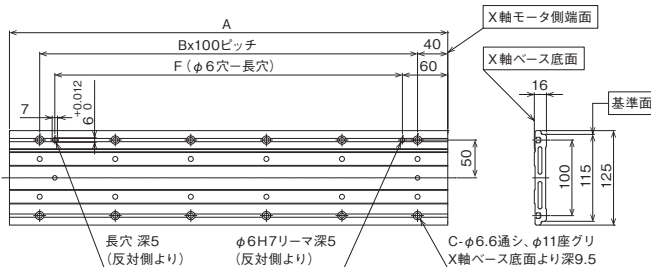
フートプレート取付寸法

X軸ストローク	A	B	C	F
50	188	0	4	45
100	238	1	6	145
150	288	1	6	145
200	338	2	8	245
250	388	2	8	245
300	438	3	10	345
350	488	3	10	345
400	538	4	12	445
450	588	4	12	445
500	638	5	14	545
550	688	5	14	545
600	738	6	16	645
650	788	6	16	645
700	838	7	18	745
750	888	7	18	745
800	938	8	20	845

IK2-P6XBB2□□S
IK2-P6XBB3□□S
IK3-P6BBB2□□S
IK3-P6BBB3□□S



フートプレート
Tスロット詳細



フートプレート取付寸法

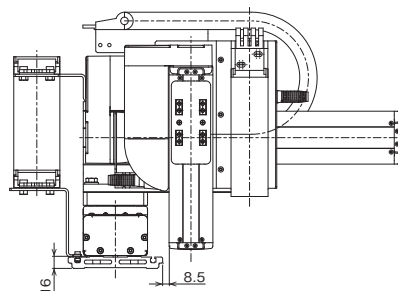
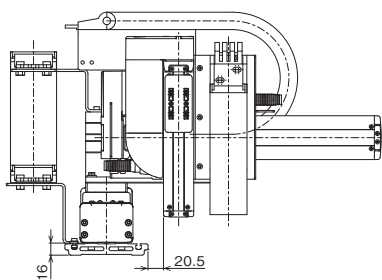
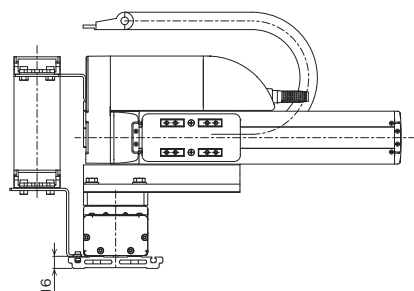
X軸ストローク	A	B	C	F
50	230	1	4	60
100	280	2	6	160
150	330	2	6	160
200	380	3	8	260
250	430	3	8	260
300	480	4	10	360
350	530	4	10	360
400	580	5	12	460
450	630	5	12	460
500	680	6	14	560
550	730	6	14	560
600	780	7	16	660
650	830	7	16	660
700	880	8	18	760
750	930	8	18	760
800	980	9	20	860
850	1030	9	20	860
900	1080	10	22	960
950	1130	10	22	960
1000	1180	11	24	1060
1050	1230	11	24	1060
1100	1280	12	26	1160

※取付け時は、下記寸法をご確認ください。

■IK2-P6XBD2□□S
IK2-P6XBD3□□S
IK2-P6XBC2□□S
IK2-P6XBC3□□S
IK2-P6XBB2□□S
IK2-P6XBB3□□S

■IK3-P6BBC2□□S
IK3-P6BBC3□□S

■IK3-P6BBB2□□S
IK3-P6BBB3□□S



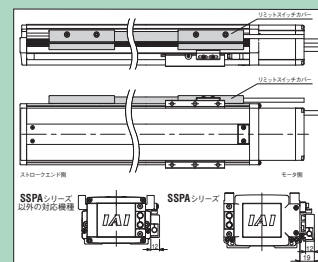
原点リミットスイッチ

型式 L / LL

説明 原点復帰を実行した際、押し当て方式はメカエンドに押し当たってから反転し原点を確定しますが、その反転のきっかけをセンサで行なうためのオプションです。原点復帰時の反転位置の変更・調整や、原点位置到達の確認を行いたい場合にご使用ください。リミットスイッチ及びカバー取付位置は、モータ側から見てアクチュエータ本体右側が標準(L)、本体左側が勝手違い(LL)となります。センサの取り付け位置は、軸組合せ方向によって決まっています。詳細は、3-25 ページをご確認ください。

※IS(S)P-Wタイプはリミットスイッチが標準装備となります。

また、リミットスイッチは本体内に内蔵されますので、本体側にカバーはつきません。



原点逆仕様

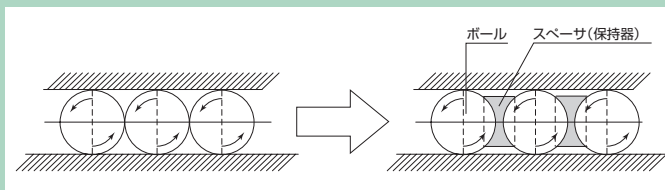
型式 NM

説明 通常原点位置は、モータ側に設定されていますが、装置のレイアウト等によって逆側にしたい場合は、オプションで原点方向を逆側に設定することが出来ます。(原点位置は工場出荷時に調整して出荷されているため、納品後に原点方向を変更したい場合は、弊社に返却して頂き調整が必要となりますのでご注意ください)

ボール保持機構付ガイド

型式 RT

説明 ガイドのボール(鋼球)とボールの間にスペーサ(保持器)を入れることで低騒音化と長寿命を実現しました。ボール同士の衝突による金属音がなくなるため、耳障りな音が減少します。ボール同士の摩擦による磨耗が減少しますので、ガイドの寿命が延長されます。ボール同士の干渉が無くなるため動きがスムーズになり、スライダの動作性が向上します。
※ISB/ISPB-SXL/MXL/LXL、ISA/ISPA-WXM/WXMX ではご使用出来ません。



スライダ部ローラ仕様

型式 SR

説明 標準のスライダタイプのスライダ構造を、クリーン対応仕様と同様のローラ構造に変更します。スライダ部ローラ仕様になると、スライダカバーの外観及び寸法はクリーン対応タイプと同じになります。

IKシリーズ ケーブル長価格表(標準価格)

ケーブル記号	長さ	RCP6 2軸 IK2-P6	RCP6 3軸 IK3-P6
		標準価格	
1L	1m	-	-
2L	2m	-	-
3L	3m	-	-
4L	4m	-	-
5L	5m	-	-
6L	6m	-	-
7L	7m	-	-
8L	8m	-	-
9L	9m	-	-
10L	10m	-	-
11L	11m	-	-
12L	12m	-	-
13L	13m	-	-
14L	14m	-	-
15L	15m	-	-

IKシリーズ ストローク別最高速度表

ストロークにより最高速度が変化する機種、軸のみ記載しております。
 以下に記載のない機種、軸については、ストロークによって最高速度は変化しません。
 ただし、ストロークが短い場合や加速度が低い場合は、最高速度に達しない場合があります。

- IK2-P6XBD1□□S X軸:SA6R
- IK2-P6XBD2□□S X軸:SA6C
- IK2-P6XBD3□□S X軸:SA6C (単位は mm/s)

速度タイプ \ ストローク	50~750 (50mm毎)	800 (mm)
SS	640	575

- IK2-P6XBC1□□S X軸:SA7R
- IK2-P6XBC2□□S X軸:SA7C
- IK2-P6XBC3□□S X軸:SA7C (単位は mm/s)

速度タイプ \ ストローク	50~700 (50mm毎)	750 (mm)	800 (mm)
MM	280	275	245
HH	560		500
SS	640		

- IK2-P6XBB1□□S X軸:SA8R
- IK2-P6XBB2□□S X軸:SA8C
- IK2-P6XBB3□□S X軸:SA8C (単位は mm/s)

速度タイプ \ ストローク	50~900 (50mm毎)	950 (mm)	1000 (mm)	1050 (mm)	1100 (mm)
MM	300	285	260	235	220
HH	400				
SS	650				

- IK2-P6XBE1□□S X軸:WSA16R
- IK2-P6XBE2□□S X軸:WSA16C
- IK2-P6XBE3□□S X軸:WSA16C (単位は mm/s)

速度タイプ \ ストローク	50~1050 (50mm毎)	1100 (mm)
MH	210	205
HH	365	

- IK2-P6YBD1□□S Y軸:SA6R
- IK2-P6YBD2□□S Y軸:SA6C
- IK2-P6YBD3□□S Y軸:SA6C (単位は mm/s)

速度タイプ \ ストローク	50~650 (50mm毎)	700 (mm)	750 (mm)	800 (mm)
SM	800	735	650	575
SH				

- IK3-P6BBE1□□S X軸:WSA16R
- IK3-P6BBE2□□S X軸:WSA16C
- IK3-P6BBE3□□S X軸:WSA16C (単位は mm/s)

速度タイプ \ ストローク	50~1050 (50mm毎)	1100 (mm)
MHL	210	205
MHM		
MHH		
MHS		